

事例6 70歳未満本人入院外(低所得)・公費(自立支援更生医療)

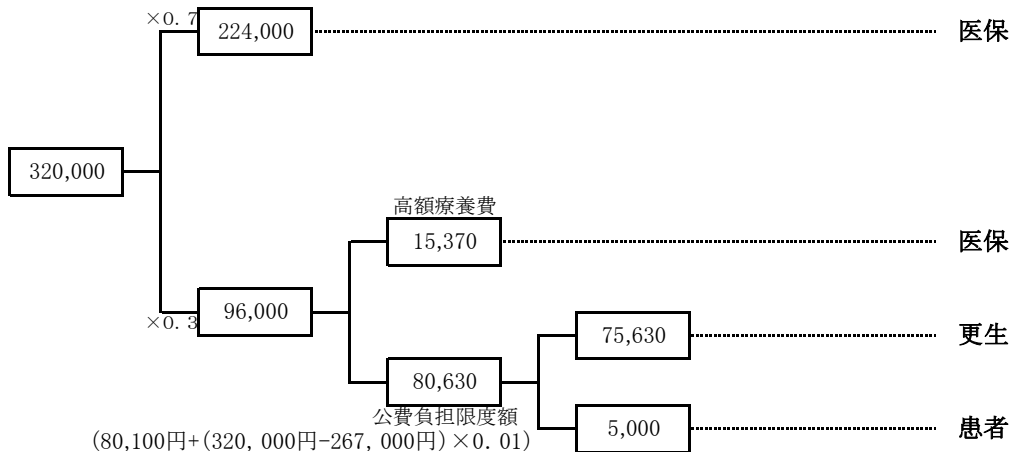
社保

訪問看護療養費明細書										6 訪問	1 社	3 3 併	2 本人
公費負担者番号①	1	5								公費負担医療の 支給者番号①			
公費負担者番号②	8	0								公費負担医療の 支給者番号②			
氏名										特記			
職務上の事由										19 低所			
保険者番号													
										保険 公費①			
										公費②			
										実 自 敷			

保 険 合 計	請求 円	※ 決定 円	負担金額 円	※高額療養費 円
	320,000		80,630	
			5,000	※公費負担金額 円 備考
	320,000		1,000	※公費負担金額 円

※ 高額療養費が発生する場合・公費に係る自己負担額が1割の場合

- 【療養の給付】 → 限度額認定証(低所得)が提示され、かつ、高額療養費が発生しているため、「保険」の「負担金額」欄に支払を受けた一部負担金額(自己負担限度額)を記載
- 社保における公費(国公費及び単県医療費)併用の場合は、限度額適用認定証の所得区分にかかわらず、「一般」の所得区分の限度額が適用される
- ※ただし、51公費(特定疾患)などはその例外
- 「公費①」の15(更生医療)の「請求」欄は、この事例では15対象部分(96,000)で点数が生じていないので空欄、「負担金額」欄は当該患者に係る月額限度額を記載



〈保険〉70歳未満 社保 定率3割 〈限度額認定証〉(低所得)高額限度額=35,400円

〈公費①〉15(更生医療) 定率1割 月額自己負担限度額 5,000円

〈公費②〉単県80 定率1割 低所得I(一部負担上限額 1,000円)

合計	
医保	239,370 円
(高額再掲)	15,370 円
更生	75,630 円
患者	5,000 円
単県80	4,000 円
患者(最終)	1,000 円

高額療養費
 $(320,000円 \times 0.3) - 80,630円 = 15,370円$

4,000 円 単県80

1,000 円 患者(最終)

→ 単県80が患者負担を4,000円カバーし、患者の最終負担額は1,000円となる